

WHO ファクトシート

心血管疾患 (CVD)

Cardiovascular diseases (CVDs)

2017 年 5 月

重要な事実

- ・心血管疾患による死亡は毎年世界で一番多く、心血管疾患は世界の死因のトップである。
- ・2015 年に 1770 万人が心血管疾患で死亡したと推定され、これは世界の総死亡の 31% である。このうち推定 740 万件は冠動脈性心疾患により死亡しており、670 万件は脳卒中により死亡している。
- ・心血管疾患による死亡の 4 分の 3 以上は、低・中所得国で発生している。
- ・2015 年に非感染性疾患のため早期死亡(70 歳までに)した 1700 万人のうち、82%は低・中所得国で発生し、37%は心血管疾患が原因である。
- ・多くの心血管疾患は、喫煙、不健康な食事、運動不足や過剰飲酒などの行動面のリスク要因について全住民を対象とした戦略を活用して対処することによって予防可能である。
- ・心血管疾患を患っている人々や高い心血管リスク(高血圧、糖尿病、高脂血症あるいは既往症などのリスク要因が一つないし複数ある)を持つ人々は、早期発見と専門的な立場からの助言や医薬品の適切な使用などの管理が必要である。

© World Health Organization

この文章は、日本 WHO 協会が WHO のメディアセンターより発信されているファクトシートのキーファクト部分について、2014 年 3 月に WHO 本部より付与された翻訳権に基づき作成したものです。

ファクトシートには、訳出部分以外にも当該案件に関する基本的情報や詳細情報へのリンク先などが示されていますし、また最新事情に合わせて頻繁に見直しが行われますので、更新日時の確認を含め WHO ホームページでの原文をご確認ください。

Cardiovascular diseases (CVDs) ファクトシート原文は [こちら](#)